



安代中と大平中の試合(5月4日、三ツ森グラウンド)

交流深め共に高め合う

第6回八幡平市&三陸中学校交流野球大会

三陸の中学校を招いての交流野球大会が5月3日から5日までの3日間、市三ツ森グラウンド、西根一中、松尾中のグラウンドで開かれました。

大会には、市内の中学校4校と釜石市、大船渡市、陸前高田市、岩泉町、田野畑村、普代村、久慈市、野田村の10校8チーム(合同チーム含む)、合わせて14校12チームが参加。釜石市立大平中の堀内海希主将は「野球を通じ他校と高め合える場に感謝し、全力でプレーしたい」と充実の表情で語りました。

爽快！初夏を告げる滝

不動の滝まつり

不動の滝まつりが5月3日、桜松公園で開かれ、県下三勝十景第一位に選ばれている不動の滝を一目見ようと、多くの観光客が訪れました。

当日は、あしろ保育園園児のダンスや地元の伝統芸能が披露され、イベントを盛り上げていました。盛岡から家族で訪れた竹田杏慈くん(5)と弟の瑠偉くん(3)は、大量の雪解け水を含んだ滝を間近に見て「水しぶきが飛んできて気持ちよかった」、「大きくびっくりした」と笑顔で話してくれました。



不動の滝を間近に思い思いに楽しむ観光客



足浴後、声を掛けながらきれいに足を拭き取りました

看護の現場を肌で感じ

ふれあい看護体験

ふれあい看護体験が5月11日、西根病院で行われ、市内外出身の中高生9人が参加しました。

生徒たちは、病院の概要や院内設備の説明を受けた後、看護師の指導を受けながら入院患者の足浴や実際に電動ベッドに寝て背上げなどの体験をしました。足浴では「気持ち良かった」と声を掛けられ、生徒たちはうれしそうな表情を浮かべていました。

体験は、看護の日(5月12日)に合わせて、毎年全国各地で開催されています。

重さに負けず頑張るぞ

一升餅を背負って歩こう2017

今回で9回目となる「一升餅を背負って歩こう2017」が5月5日、道の駅にしねで開催されました。

『これからの一生(一升)健やかに育つように』との願いが込められた同イベントには、1~2歳の幼児30人が参加。はんでん姿で重さ約2kgの一升餅を背負い、約10分先のゴール地点を目指して赤いじゅうたんの道を歩きます。子どもたちの中には、背負った重さに戸惑いながら泣き出す子も。最後まで立派に歩く子どもたちに、来場者から声援や拍手が送られました。



母の手から離れ、一升餅を背負って歩く工藤春真ちゃん



いわて防災スクール実践校の研究発表も行われました

市教育研究所が初総会

市教育研究所総会・教育講演会

29年度に新設された市教育研究所が5月1日、西根地区市民センターで総会・教育講演会を開催し、本市の小中学校教職員約160人が出席しました。

総会では今年度の全体研究主題が示され、重点・先進・テーマ別の研究部会、各種研修会の事業を通して、本市教員一人一人の指導力向上を目指すことを確認。講演会では松尾中校長も歴任した菊池広親氏(県教育委員会事務局)を講師に招き「八幡平市の教育に期待すること」と題し、講演いただきました。

人口減に歯止めを期待

地方創生に関する連携協定調印式

地方創生に関する連携協定調印式が5月17日、市役所で行われました。

本協定は、市と本市でオークフィールド八幡平を運営する「(株)アーベイン・ケア・クリエイティブ」、温泉分譲のロイヤルシティ八幡平リゾートを運営する「大和ハウス工業(株)岩手支店」、施設課題解決の専門家である「(株)山下ピー・エム・コンサルタンツ」が相互に連携し、移住・定住の推進および生涯活躍のまちの推進に協力していくことを目的に締結したものです。



市の地方創生推進に連携・協力して取り組みます

すなっぶギャラリー



第27回東北中学校男子・女子選抜ソフトボール大会(5月4日、松尾総合運動公園多目的運動場)



牧野に放たれた牛たちは、思い思いに青草をはみました(5月10日、上坊牧野)



寺田小学校運動会の6年親子競技では親チームと子どもチームで対戦しました(5月28日、寺田小学校)



新緑の色増す七時雨山で山開きを祝いました(5月28日、七時雨山山頂)



約1年間におよぶ増築棟工事が竣工し、外来診療が開始されました(5月8日、東八幡平病院)